

(仮称)掛川市・袋井市新病院



申請者からのコメント

(仮称)掛川市・袋井市新病院は、基本構想において、両市民の必要とする質の高い医療を提供することを基本に、2次の急性期医療を中心に行う病院として、今後増加が見込まれる循環器系疾患への適確な対応をはじめ、救急医療体制の整備、さらには当地域に不足している小児・周産期医療の充実を目指します。建設計画についても、地震等の災害時においても地域の基幹病院としての医療機能を維持するため免震構造とし、また、災害拠点病院として医療活動を継続するため、十分なライフラインを確保するなど、BCP (Business Continuity Plan) の概念を取り入れたLCB (Life Continuity Building) として災害に強い病院を目指します。

設計者からのコメント

最下階である1階床下と基礎の間に免震材料を配置した基礎免震構造である。上部構造は、低層階は基本的にX、Y方向とも8.5mグリット、高層階はその対角方向の12.02mグリットで、高層部柱にCFT造を採用した鉄骨造の純ラーメン構造である。耐震設計では、極めて稀に発生する地震動に対し、免震材料は性能保証変形以下、上部構造および基礎は短期許容応力度以内となることを確認している。